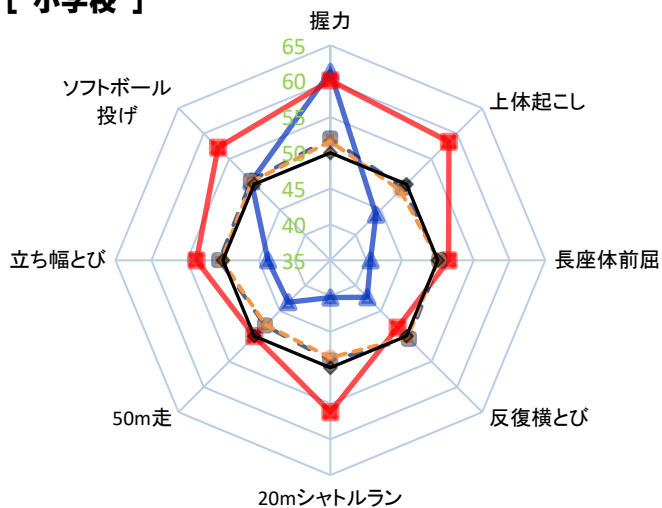


■ 福島町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数16名、中学校1校・生徒数10名)

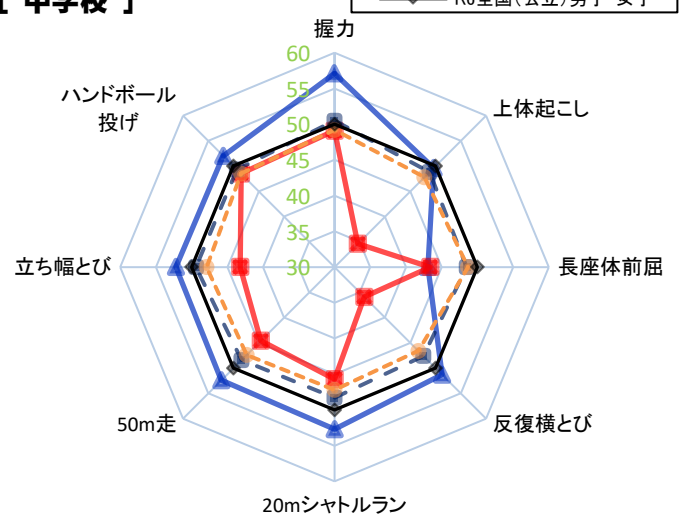
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

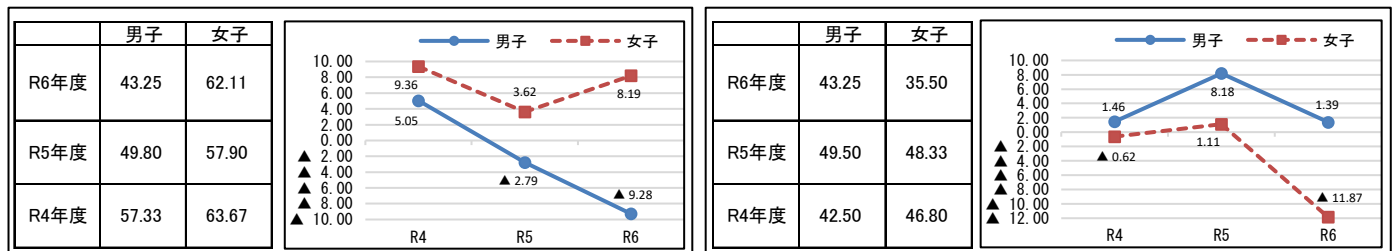
【小学校】



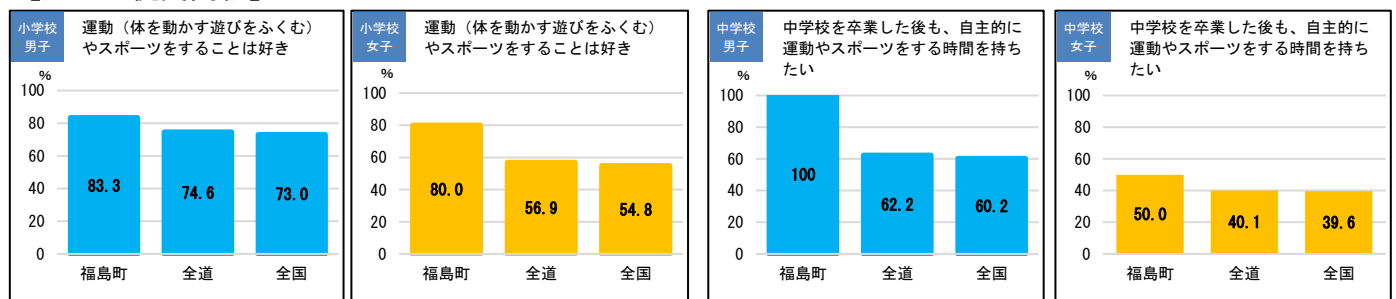
【中学校】



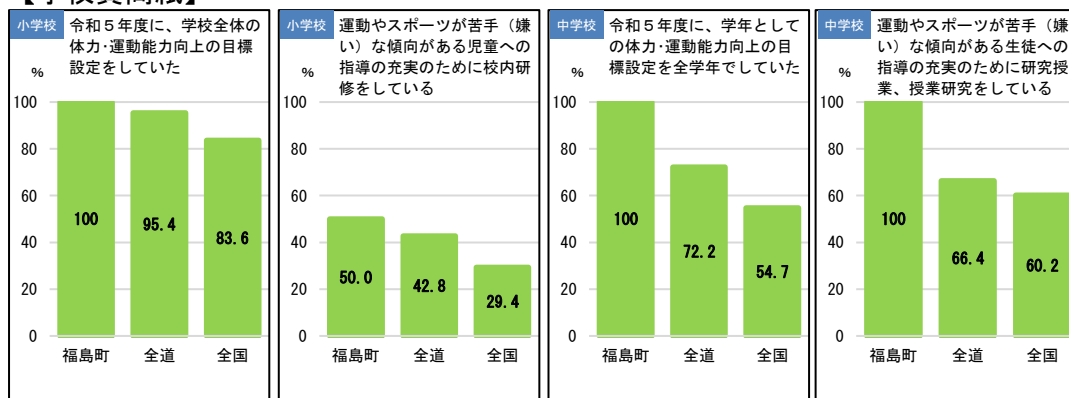
【体力合計点及び全国との差の推移】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
令和5年度に、学校全体の体力・運動能力向上の目標を設定するとともに、運動やスポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童への授業の充実のために校内研修を行ったことにより、運動やスポーツをすることは好きであると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考える。

＜中学校＞  
令和5年度に、学年としての体力・運動能力向上の目標を設定するとともに、運動やスポーツが苦手(嫌い)な傾向がある生徒への指導の充実のために研究授業、授業研究を行ったことにより、中学校を卒業した後も、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考える。

【福島町の体力向上策】

- ◎ マラソンや縄跳びなど休み時間に楽しみながら体力向上を図る取組の推進
- ◎ 学校及びスポーツ団体と連携した少年少女体カテストや縄跳び大会の実施など、体力向上に向けた取組の推進
- ◎ 「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉とした、生活習慣のリズムを整える取組の推進

【二次元コード】



後日掲載予定